

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	26	事業名	観光交流推進事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	----	-----	----------	------	---------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	10	にぎわいあふれる新たな観光交流を進める	款	6	商工費
		施策の進め方	1	魅力の創出	項	1	商工費
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	目	2	観光費
		政策分類	11	魅力ある景観を創り出す	大事業	2	観光交流推進事業
	その他(関係法令、要綱等)	第2次長久手市観光交流基本計画					
事業開始の背景、経緯等	愛知万博を契機に長久手市(長久手町)観光交流推進会議が発足し、平成28年1月に長久手市観光交流協会として独立した。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市観光交流基本計画の理念にのっとり、観光交流資源の開発や観光交流施設及び行事等の紹介、宣伝を行い、観光交流人口の増加を図り、もって市の活性化に取り組む。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・観光者・来訪者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモを基軸としたネットワークで観光資源や歴史的・文化的資源を結び、新たな観光交流を推進し、魅力あるまちづくりを目指す。					
	事業を構成する事務事業	① 観光PR事業	拡充	④			
				⑤			
				⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算 決算			18,165 11,957	18,695 18,733	22,031 21,362
人件費(B)	千円	決算			9,394	5,118	5,719	
総コスト(A)+(B)	千円	決算			21,351	23,851	27,081	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 観光者数	千人	目標	2,750	3,000	2,800	2,800	2,900
			実績	2,777	3,223	2,841	2,863	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) 観光PRを行った結果増加と思われる観光者数を成果指標とする。平成27年度は都市緑化あいちフェアのため短期的に増加を見込んだが、平成28年度は予定していなかったトヨタ博物館の改修休館があり、観光者数が伸びなかった。しかし、過去5年間の実績は増加傾向にあるため、平成30年度も増加する指標とした。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市観光協会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、豊明市観光協会、みよし市観光協会 平成28年1月に長久手市観光交流協会が独立した。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行い、目標を達成出来た。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 観光資源を活用したPRは行っているが、施設間や団体間の連携はあまり出来ていないため、連携の必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 観光施設や商工団体、住民団体などとの連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成が必要。また、特産品になり得る資源の発掘が必要。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 補助金を有効的に活用しながら、より観光PR等を強化するため、5年以内に観光交流協会として法人化を目指す。また、平成29～31年度に県の補助金を活用し、特産品となり得る資源を発掘し、観光交流協会により市PRのためのツールとして活用する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	観光交流推進事業									
番号	①	事務事業名	観光PR事業			款	6	項	1	目	2	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度			平成16年度			終了（予定）年度	—							

1. 事務事業の目的

対象・手段	<p>（誰、何に対し、何をどのように実施しているのか）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行うことを目的に補助金を交付する。 市の特産品となり得る資源を発掘するため、県の補助金を活用した地域ブランディング事業を行う。
意図	<p>（対象をどのような状態にしたいか）</p> <p>交流を促進し、市の活力と魅力を高める。</p>

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		18,165	18,695	22,031	22,031
		決算		11,957	18,733	21,362	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 観光交流協会補助金						18,771	千円
② 地域ブランディング事業委託						2,333	千円
③ 観光事業負担金						120	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
補助金交付	千円	目標	13,200	18,000	18,600	18,771	18,771
		実績	13,200	11,860	18,600	18,771	
観光者数	千人	目標	2,750	3,000	2,800	2,800	2,900
		実績	2,777	3,223	2,841	2,863	
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランディングプランの作成委託 市観光交流協会への補助金交付 平成30年秋開催の愛知デスティネーションキャンペーンに伴う、県への負担金 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

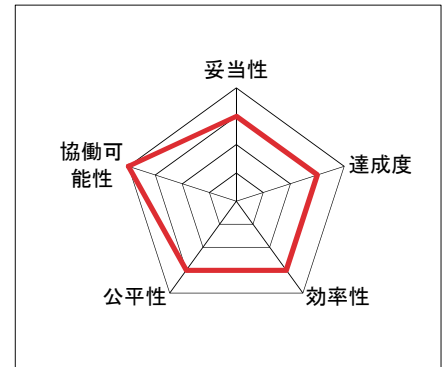
<p>（制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など）</p> <p>平成27年度に都市緑化あいちフェアが開催。 平成28年1月に観光交流協会独立。 平成28年12月～29年1月までトヨタ博物館休館。</p>
--

5. 前年度からの改善状況

<p>＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設や商工団体、住民団体などとの連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行うため、引き続き協会へ補助金を交付する。 平成29年度の新規事業として、市の特産品開発を目指し、資源発掘のための計画作り等を行う。
<p>（何をどのような状態に改善したのか）</p> <p>補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行った。</p>

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



【アピールポイント】

<p>（活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど）</p> <p>市と協会で役割を明確にし、協会設立後2年が経過し、協会独自で事業や事務を行っている。</p>
--

【ウイークポイント】

<p>（活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど）</p> <p>事務局主導で事業を行うのではなく、会員主導で計画や実行する事業を増やす必要がある。</p>
--

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

<p>（改善の方法、今後の具体的展開など）</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設や商工団体、住民団体などとの連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行うため、引き続き協会へ補助金を交付する。 平成29年度から31年度までの事業として、市の特産品開発を目指し、資源発掘のための計画作り等を行う。
